

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4411
24年1月1日(月)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

2024年 本年も よろしくお祈いします

謹賀新年。

2024年がスタートしました。「1年の計は元旦にあり」ということわざがありますが、集配の職場では元旦の年賀葉書配達から1年がスタートします。無事に事故無く帰局する事を切に願います。

昨年、新型コロナウイルスが2類から5類へ移行した事で3年続いたコロナ禍も終わりを告げました。「三密」「アベノマスク」「ソーシャルディスタンス」「黙食」などコロナ禍で生まれた新語や流行語などは過去のものとなり人々は普通の日常を取り戻しています。

コロナ禍で制限されていた支部の運動ですが、昨年はコロナ禍前のように活動ができるようになりました。

旗開きこそ中止となりましたが、5月以降はメーデー、夏の平和運動、ピースサイクルや8・8平和を考える長崎集会、広島行動へ参加など制限なく行う事が出来ました。

7月の東京での郵政ユニオンの定期全国大会、9月の福岡での九州地本の定期大会には支部から代議員を選出、久しぶりに各地の仲間と交流しました。



また、10月21日には、延期となっていた「組合結成30周年、機関紙未来の4000号達成記念レセプション」を開催。レセプションには来賓の方々を始め、全国の仲間、退職者などにも出席頂き、現役組合員も含めた出席者は50名に上りました。レセプションの開催に当たり、作成した記念誌やDVDですが、仕事の合間に執行委員それぞれが出来ることを行

い、協力して完成させることが出来ました。協力して何かをやり遂げる事は組合の大きな力にもなります。出席者からは「良いレセプションだった」とお褒めの言葉も頂きました。

支部の組織の状況に関しては、ここ数年、労働相談をきっかけに組合に加入するケースが多くあり、昨年も労働相談から組織拡大に繋がりました。駆け込み寺ではありませんが、困った人が頼れる組合が我々郵政ユニオンです。少数組合ではありますが、会社に「ものを言える組合」として今年も存在感を発揮していきたいと思えます。



今年の郵政の職場は「物流2024年問題」やヤマト運輸との協業など外部の影響もあり、どのようなになっていくか想像が付きません。また、昨年末に飛び込んだ

郵便料金の値上げに関しては、今年秋に実施予定となっています。値上げで収支が改善されれば良いですが、そうでなければ、今後、超勤抑制や減区などの合理化を進めてくる事が予想されます。



郵便関係の職場は依然人手不足の状態です。期間雇用社員が応募してくれても早期に退職するケースが続きました。新規

採用の社員が定着するには働きやすい職場を作り、待遇を改善することが一番です。

職場には様々な問題があり、働く人も問題を抱えています。その問題を解決するには個人では限界があるため、労働組合に結集しているのです。郵政ユニオンは働く者（労働者）の為の労働組合として今年も元気に活動してまいります。

本年もどうぞよろしく
お願い致します。

郵政ユニオン長崎中央局支部 執行部一同

長崎中央郵便局支部 2023年度 支部役員

役職	氏名	職場
支部長	山田武明	第3集配営業部
副支部長	原田芳博	第3集配営業部
書記長	向井 宏	第2集配営業部
執行委員	海江田弘子	第1集配営業部
〃	濱崎直樹	第3集配営業部
〃	前田節二	第3集配営業部
〃	佐田 剛	第3集配営業部
青年女性部長	黒田彩加	第1集配営業部
会計監査	山内みどり	窓口営業部

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めげず、均等待遇 なくそう差別！

ユニオンは労契法裁判に勝利するぞ！